



115号
 仏暦2556 (2012・平成24)年
 9月23日発行
 呉市中央 7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL 0823 (21) 2798
 FAX 0823 (21) 2795
 www.saikyoji.net
 郵便振替番号
 01340-3-29117
 宗教法人西教寺

念仏しづらい

太陽発電

この夏、思い切ってお寺の庫裏に太陽発電電をつけた。太陽の光で発電するので、地球温暖化の原因といわれる「酸化炭素を多く出す火力発電や、問題になっている原子力発電の電気を使わないですみます。それだけではなく、発電量が多い時は、余った電気を電力会社が買いつけてくれる仕組みになっています。

といつかで、今までは夏の強烈な日差しが憎たらしく

太陽発電電の電力も「夕」から発電量、使用量、売(買)電量。



くたまりませんでした。今年日は日照りつけると「二」人間で勝手なものですね。

いただきますゼロ

合掌して食べる人はいないのかな?—そう思って周囲を見

話は変わりますが、私は毎年八月、京都のホテルである宿泊勉強会に参加しています。その朝はバイキングで、皆が思い思いにどうで食べる形式です。食堂で私が「コーヒ」をすすっていると、私の前に座った女性が、座るなりパクつと食べ始めました。

「あれ? この人合掌せずに食べたな。人前で合掌するのが恥ずかしいのかなあ...」

回しましたが、皆合掌せずに食べています。

「合掌はしなくても、「いただきます」ぐらい言っておく人ならいるだろう。—今度は周りの人の口元をじつと観察しました。しかし残念なことに「いただきます」と言っておく人も、誰一人としていませんでした。

これが現代日本人の偽らざる姿ですね。実はこのことは、あらためてこの場で書かずとも、そうなっていることは皆さんも薄々感じておられたのではないのでしょうか。

「法事の席でこの話をする」と、赤い顔になって下を向く方も少なからずいらつしやう。私の印象では、まだ多くの方は、合掌したり「いただきます」・「馳走さま」と言うべきだとは思っておられるようです。

合わせづらい手

かくいう私自身も、外出先などで一人で飯をいただく場合は、実はちよつとは恥ずかしくて、合掌しようかどうしようか、そんな体裁を気にする情けない自分と毎度葛藤することです。

亡くなった祖父が、「右の手と左の手をひつつけるのは、富士山と身延山をひつつけるぐらい難しいですよ」と申しておりました。考えてみると、皆が手を合わせない時代、人間として生きることが難しい社会で、自分のことしか考えようとしてない畜生そのものの私が簡単に手を合わせることでできると思つのが間違いないでしょう。逆に、この合わせ

ずかしい手だからこそ、合掌することの尊さや計り知れぬ意味を思いたいと思います。

食事の合掌と同様、私たちが本当の人間になるには、お仏壇を大切にお念仏申しつつ暮らせと親鸞さまはお示しです。しかしこれができませんね。「仏さん」は「ほんとに」。「相続して念仏するものは人中の希有人」「人中の芬陀利華(泥の中で泥に染まらず真つ白に咲く蓮の花)」とは善導大師のお示しです。

味を思いたいと思います。

岩崎智寧 (新任職)



通し報恩講がはじまります。

報恩講は浄土真宗の最重要行事です。10月1日より、コース表の日程でお参りいたします。ご多用のこととは思いますが、大切に年に1度の仏さまとの縁お結び下さい。詳細は別紙『報恩講ガイド』をご覧ください。